

2021年度児童発達支援 自己評価及び分析と改善				
チェック項目		千葉県 第二つばの館		
		はい	どちらともいえない	いいえ
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練スペースとの関係で適切であるか	10	0	0
	2 職員の配置数は適切であるか	9	0	1
	3 生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事務所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達への配慮が適切になされているか。	10	0	0
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか。	9	0	1
	分析	約10人の定員から2部屋に分けて、さらに小集団にして換気を兼ねてコロナ感染防止に努めている。活動に関しては、天気によって、散歩、園庭遊び、制作、リトミック、室内運動遊び、光遊びを行う。また、季節に応じて花を苗植え、野菜の苗植えを取り入れた。		
改善方針	建物に関しては、老朽化している箇所を管理会社を通して改善していきたい。職員数に関しては、その時の子ども数や特性に応じてシフトを組んでいく。			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	9	0	1
	6 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	0	0
	7 事業所向け自己評価及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	10	0	0
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	9	1	0
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	0	0
分析	事業所職員や保護者に毎年、アンケート用紙を配布して、状況や評価をしている。集計した物をデータ入力してホームページにもあげている。			
改善方針	保護者アンケートを参考に、保護者のニーズを把握した上で、全職員に周知、意見交換をして、より良い支援に繋げていきたい。業務改善に関しては、その都度、気になったこと等、相談して改善に向けて行く。			
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等サービス計画を作成しているか	10	0	0
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10	0	0
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援がイデオロギの「児童発達支援の提供すべき支援の1(発達支援)」「家庭支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0	0
	13 自発支援計画に沿った支援が行われているか	10	0	0
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	0	0
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	0	0
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	10	0	0
	17 支援開始前には必ず打ち合わせをし、その日にされる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	0	1
	18 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	0	1
	19 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	0	0
20 定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10	0	0	
分析	正職員が中心としてその日の療育を立案してパート職員に周知する。パート職員との話し合いは短時間でしかやりとりの状況である。			
改善方針	パート職員を含めて全体会議を定期的に設けることにした。また、子どもに関する共通理解や意見交換を今後も行っていきたい。支援については統一を図っていきたくもあるが、まだ徹底周知されていない為、研修を兼ねて設定していきたい。			
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した員もふまわしいが参加しているか	9	1	0
	22 母子保健や子ども子育て支援等の関係機関と連携した支援を行っているか	9	1	0
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保健、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	10	0	0
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを支援している場合)子どもの主治医や協力機関等と連絡体制を整えているか	10	0	0
	25 移行支援として、保育所や幼稚園、認定こども園、特別支援学校(幼稚園)との間で情報共有と相互理解に努めているか	9	0	1
	26 移行支援として、保育園や認定こども園、幼稚園特別支援学校(幼稚園)等と間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	0	1
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	0	1
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもも活動する機会があるか	4	0	6
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	10	0	0
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	0	0
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	9	1	0	
分析	コロナ渦の中、感染リスクがある為、外部との交流が出来ていない。			
改善方針	以前は、同法人内の学童保育の児童とクリスマス会交流があったが、現在はコロナ感染防止の為、実施出来ていない。世間の動向を見つつ、本部と各園の管理者と検討した上で、再開を目指していきたい。			
保護者への説明責任	32 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明は行っているか	10	0	0
	33 児童発達支援がイデオロギの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	10	0	0
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	0	0
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	1	7
	36 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	0	0
	37 定期的に依頼等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して提供しているか	10	0	0
	38 個人情報に十分注意しているか	10	0	0
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	0	0
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	1	3
	分析	コロナ渦の中、感染リスクがある為、保護者会を兼ねた交流が出来ていない。		
改善方針	コロナ感染防止の為、実施するまでには至っていないが、世間の動向を見つつ、本部と各園の管理者と検討した上で、再開を目指していきたい。			
非常時の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9	0	1
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	0	0
	43 事前に、園業や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を把握しているか	10	0	0
	44 薬物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか	10	0	0
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	0	0
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	0	0
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	10	0	0
分析	パート職員にも、避難訓練、ヒヤリハット報告等を書面として周知している。また、定期的な内部研修を実施して、共通理解やスキルアップ向上を図っている。			
改善方針	保護者には、避難訓練を行ったことを提供記録や活動記録、ベルニューで知らせているが、実施されているかわかっていない方も多いため、継続とともに言葉でも伝えていきたい。			